突厥碑文中默棘連可汗の三十三歳の時の事件として記さるゝ前記の記事に對應すべき漢史上の事實は上に述べたるが如し、されば若し此の三十三歳なる年が開元三年秋に及べるものとすれば碑文に見ゆる Toquz Oγuz の支那に來り投ずるに至りし事實は、鐵勒の九姓に屬する思結及び同種の數部（前記新唐書參照）の唐に來歸したる事實か、或は開元四年六月に於る回鶻・同羅・霫・拔曳固・僕固等の諸部が來朝せる事實かに相應し、又碑文に Oγuz の行動によりて默啜が死するに至れりと記するものは、拔曳固が默啜を殺しゝことに應ずるか、若しくは拔曳固をはじめ回鶻・同羅・霫・僕固等の諸部が默啜に離叛し、抗敵するに至りしこと（此の結果として默啜は拔曳固の爲に殺さるゝに至りたるものなれば）に應ずるものならざる可らざるは疑無きことなりとす、然るに此等の諸部の一々の名稱は、大概碑文中にも記され、思結は Izgil、回鶻は Uiγur、同羅は Toıra、拔曳固は Bajirku に當り、霫卽ち白霫は Hirth 氏に據ればまたその Bolšar ならんといひ、[25] 僕固は Schlegel 氏が Bugu と見し[26]より、Hirth, Marquart 氏等も之に從へるものゝ如し、かゝれば碑文記載の事項が上記漢史中の何れかの記事に相當するものに外ならずと認めらるゝに係はらず、之と關連して現はるゝ Oγuz, Toquz Oγuz なる名は其の儘の形にては漢史の記事中に認むる能はざるものなりとす、然れども既に兩記事の一致が疑無しとすれば、此等の名稱の相違に就いての解釋は少しも困難なることには非ず、卽ち Oγuz 若しくは Toquz Oγuz とは漢史に見ゆる鐵勒の九姓に屬する思結及び其の他の諸部、或は拔曳固・回鶻・同羅・白霫・僕固等の諸部（此等も勿論鐵勒九姓中の諸姓なること前に述べたるが如し）の總名卽ち九姓、九姓鐵勒の名に當るものに過ぎずと見れば、容易に此の相違の點を解釋し得べく、かく見ることに於て何等矛盾の其の間に存する有る無く、またかく見ることに於てのみ獨り此の問題を解釋し得べきものなるを信じて疑はず。